

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立武芸小学校		
実 施 期 間	平成26年10月29日（水）～11月28日（金）		
実 施 概 要	① 地域の一人暮らしの年配の方に、6年生が育てた菊を届けた。 ② 地域の文化祭に参加し、4年生が十六拍子太鼓の演奏を披露した。 ③ 5年生が自分たちで育て収穫したもち米を使って、地域の方や保護者と一緒に餅つきをした。 ④ 保護者、地域の方々に向けての授業公開を行った。 ⑤ 児童集会に地域の方を招待した。 児童集会「ハートフル集会」に、保護者と日頃お世話になっている地域の方々を招待した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	7 8 人	計 1 2 3 人
	地 域 関 係 者	4 5 人	
実 施 状 況	1. 一人暮らしのお年寄りの方への菊の配布 10月29日（水） 6年生が5月から総合的な学習の時間に育ててきた菊を、校区内の一人暮らしのお年寄りのお家（30軒）を訪問して届けた。3週間ほど楽しんでもらい、11月19日（水）に訪問をして菊を回収した。 2. 地域の文化祭での十六拍子太鼓の演奏披露 11月9日（日） 4年生は総合的な学習の時間を使って、地域の伝統文化である十六拍子太鼓の練習をし、いろいろな場で発表をしている。今年度は、校区内の一色地区からの依頼で文化祭に参加し、演奏をした。 3. もち米づくりの収穫祭（もちつき） 11月28日（金） 5年生は総合的な学習の時間にもち米づくりをしてきた。支援していただいた地域の方や保護者と一緒に、収穫したもち米を使って餅つきをして収穫を祝った。 4. 授業公開と児童集会の公開 11月28日（金） 【授業公開】 授業を公開して、多くの保護者や地域の方に子どもの様子を見ていただいた。 【児童集会（ハートフル集会）の公開】 児童集会「ハートフル集会」に、保護者と日頃お世話になっている地域の方々を招待した。ハートフル集会では、4月から児童会中心に取り組んできた『温かい言葉かけである「ふわふわ言葉」を増やし、友だちの心を傷つける「チクチク言葉」をなくしていき、仲間を大切にしていく取組』の成果を全校、各学級で発表し認め合った。また、家庭でも取り組み、事前に保護者へ日頃の感謝の気持ちを手紙に書き、その返事を集会当日に児童に配布をしてその場で読んだ。		

成果及び課題

1. 一人暮らしのお年寄りの方への菊の配布 10月29日(水)

菊の配布では、きれいに咲いた大輪の菊を直接お宅に訪問して渡し、お年寄りの方に喜んでもらうことができました。児童が直接あいさつをしながら菊を手渡すことで、お年寄りの方との交流がもてた。菊を届けた方から以下のようなお手紙もいただき、子どもたちも喜んでいいる。

- ・おかげさまで、今年も立派な菊の花をながめることができ、毎日楽しく過ごさせていただきました。毎日大変な思いをして育てていただいて、本当にご苦労様でした。毎回写真におさめてあります。来春は、中学生になられるのでしょうか。勉学に励んでください。
- ・美しく大きく咲いた菊の花。毎日、楽しませていただきました。本当に、本当にありがとうございます。
- ・丹精を込めて育てた菊を楽しませていただき、ありがとう。

2. 地域の文化祭での十六拍子太鼓の演奏披露 11月9日(日)

一色地区の文化祭での十六拍子太鼓演奏では、年配の方々が見守る中、演奏を喜んでいただき、拍手も多くいただいた。子どもたちも休みの日であったが、全員が参加し、自信をもって演奏をした。また演奏後、文化祭に参加し、地域の方と触れ合いながら楽しんだ。

3. もち米づくりの収穫祭(もちつき) 11月28日(金)

5年生の餅つきには、初めての試みであったが、地域の方14名と保護者4名にお手伝いを願い、5年児童全員が餅つきを体験し、丸餅をつくった。地域の方に支援をいただきながら、初めて杵を使って餅をつく体験をした児童が多かったが、ふわふわ言葉で会話もしながら楽しく体験ができた。また、地域の方に収穫したもち米をふるまい、喜んでいただいた。

4. 授業公開と児童集会の公開 11月28日(金)

児童集会では、「ふわふわプロジェクト」の取組の成果を参観して、「学校でやさしい思いやりある言葉を使うために、ふわふわ言葉を大切にして取り組んでいることが伝わってきました。」「家庭でも、意識してふわふわ言葉をたくさん使うことができ、温かい雰囲気になりました。」という声をいただいた。

課題としては、「ふわふわ言葉」の取組が地域にも広がって、武芸小学校の教育への理解をいっそう深めていけるように今年度のように餅つきなどの活動をするとともに、広報活動も工夫していきたい。